

原発回帰を
許さない!

再稼働反対! 首相官邸前抗議

9

2015

SEP

川内・伊方原発再稼働やめろ!

2015年8月11日、九州電力は、川内原発1号機(鹿児島県薩摩川内市)の制御棒を抜き原子炉を起動、再稼働させ、1年11か月続いた日本の「稼働原発ゼロ」状態が終わりました。

2011年3月11日に起きた東京電力福島第一原発の事故は、それまで原発に疑問を持たなかった人々の意識や人生を大きく変えました。4年たついても、事故は収束せず、現場では死傷者も出る危険な作業が続いており、汚染水も溜まり続けています。福島県では10万を超える人が故郷を追われているのですから、再稼働を疑問視する声が賛成を大きく上回るのはあたりまえです。

今夏の電力にしても、あれほどの猛暑が続いても余裕がありました。そして、川内原発は事故後に定められた新規規制基準に適合した第一号といいますが、事故時の住民避難計画や火山の巨大噴火への不安、使用済み核燃料の処理など問題を山積みにしたままの見切り発車です。

新規規制基準については、原子力規制委員会の田中俊一委員長ですら「安全を保証するものではない」と自ら認めています。しかし、政府は「世界最高水準の規制基準に適合すると原子力規制委が認めるものは再稼働をする」という方針を述べるばかりで、「なぜいま再稼働するのか」という疑問に納得できる説明はありません。その一方で、「再稼働は事業者が判断をする」と批判の矛先をかわそうとしています。

安倍政権にとって、原発回帰は既定路線であり、安全の担保、国民の納得などどうでもいいことなのでしょう。事故の対応を真剣に検討していないばかりか、何か起きて責任のたらい回しがされるのは明らかです。

利権をもつ企業や官僚組織の後押しを受けた安倍政権は、2014年4月に、原発を再び推進するエネルギー基本計画を決めました。民意を無視した横暴なやり方は安保法制や他の問題とも同様です。このまま彼らの暴走を許しては、私たちの命も暮らしも守ることはできません。

無謀な再稼働は、あらためて安倍政権の姑息さ、無責任ぶりをあらわにしました。官邸前、国会前に集まり、主権者であるわたしたちの意思を突きつけていきましょう!

9/4

9/11

9/18

9/25

金曜日 18:30 ~ 20:00

※日程、時間、開催エリアなどは変更する場合があります。

※天候や状況に応じての急な変更は、当日の14時までにtwitterやWEBでお知らせします。

※国会正門前北庭エリアでは、19:30よりSEALDs呼びかけによる「戦争法案に反対する国会前抗議行動」もあります。

NO NUKES

首都圏反原発連合

Metropolitan Coalition
Against Nukes

<http://coalitionagainstnukes.jp/> <http://twitter.com/MCANjp> info@coalitionagainstnukes.jp

